

3. JCPOA再建交渉に向けたイランの原則的立場



1979年2月、イランに帰国したホメイニー師に空軍将校らが忠誠を誓い、イスラム革命の成功を決定づけた事件を記念しての演説。JCPOAに違反したのは米国であり、まず米国がすべての制裁を解除することが、JCPOA再建の条件になるということを明確かつ強い言葉で示した。

◆イラン・イスラム共和国最高指導者アヤトッラー・ハメネイ師が空軍司令官らを行って行った演説(抜粋)◆

2021年2月7日

(前略)

制裁問題に関して、今日、彼らは何かあることを言っている！ヨーロッパ人と米国人の双方が何かある主張をしている。何よりもまず、ヨーロッパにおいてであれ、米国においてであれ、資格を持たない人びとにより行われる無意味な発言に、耳を傾ける者などイスラム共和国には一人もいない。彼らは馬鹿げた発言をしており、とうてい聞くに値しない。第二に、もし我々が理性的であろうとし、また理性的に話すのであれば、JCPOAが定める義務を破ったのは米国および欧州三国であることを言っておかねばならない。ゆえに、JCPOAについて条件や制約を提示する権利を彼らは持っていない。彼らはJCPOAに定められた義務を何ら果たさなかったからだ。単にある短期間の間、彼らは制裁のすべてではなく、そのいくらかを一時的に解除したにすぎない。しかしながら、その後、彼らは制裁を再開し、強化さえした。おそらく彼らは制裁を2倍にも3倍にも増大させた。ゆえに彼らはこのことについて条件や制約を設定する権利を持たない。

JCPOA継続に関する条件を設定する権利を持つのはイランの側である。なぜなら、最初からイランはすべての義務を尊重してきたからである。イスラム共和国はJCPOAのすべての義務を尊重した。守るべき義務を破ったのは彼らである。ゆえに、我々がJCPOAの継続に関する条件を設定する権利をもつ。最近、我々は1つの条件を提示した。誰もそれに異を唱え得ないだろう。その条件とは、もしイランがJCPOAの義務——そのいくらかはすでに削除されている——に復帰することを米国が望むのであれば、彼らはすべての制裁を解除しなければならない、というものだ。言葉や書面においてだけではなく、彼らは行動において解除しなければならない。そのうえで、我々は制裁が本当に解除されたかどうか検証を行う。その後、我々はJCPOAの義務履行に復帰するだろう。これがイスラム共和国の確定的政策であり、この国のすべての高官によって承認されたものである。ゆえに、我々がこの政策から後退することはありえない。(後略)

出典：ハメネイ師オフィシャルサイト
<https://english.khamenei.ir/news/8363/If-they-want-Iran-to-resume-its-JCPOA-commitments-the-US-has>
アクセス日：2022年3月2日